

きたおくいせき
北奥遺跡

所在地：津市芸濃町多門（つしげいのうちょうたもん）

遺跡への経路：安濃ダムに通じる県道津芸濃大山田線芸濃町多門地内の道幅が
やや狭い緩やかなカーブになっている道の両側が遺跡です。

位置情報URL：

<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=512&ll=34.80499305555555,136.415604519774>

調査期間：平成21年8月28日（水）～平成21年11月10日（火）

調査面積：300㎡

主な遺構：土坑（大きな穴）・溝・井戸・小穴・落ち込み

主な遺物：土師器（素焼きの土器）、陶器、木製の漆塗りの椀

コメント：今回の発掘調査では、中世のものと思われる土坑（大きな穴）や溝、井戸（2カ所）が確認され、多くの土師器（素焼きの土器）や陶器の破片が出土しました。井戸①からは木製の漆塗りの椀も出土しました。また、今回の調査箇所の東側で平成13年に行われた調査で確認された地面の落ち込みの西端が確認されました。



道路を挟んで南側の発掘場所



北側の発掘場所



発掘調査作業の様子



井戸



井戸 (遠景)



井戸 から出土した木製の漆塗りの椀



井戸 (近景)

問い合わせ先

515-0325 三重県多気郡明和町竹川503番地

調査研究 課 / 担当者：岩脇成人・奥田勝久・西村美幸

電話番号：0596-52-1732 / ファックス：0596-52-7035 / e-mail：maibun@pref.mie.jp